

笑 顔

☆まあいじかん☆

篠山東中学校 3年1組学級通信

第 62 号

2018(平成30)年12月4日発行

発行者 松田 淳二

文化祭を振り返って(クラスの成長編)

○先を見て行動がしっかり一人ひとりできていたと思う。

○的確に指示して、演劇や合唱をよりよいものに仕上げることができた。そうすることでクラスが一丸となって、感動のあるものがつくれたのだと思う。リーダーの指示をしっかりと聞いて直せたのも良かった。

○みんなで一つのものをつくり上げる力がついた。自分たちで演劇の準備や合唱をつくり上げることができた。

○みんなを信じて自分の役割を果たせた。3年間の絆とか信頼とかをこの文化祭で一番感じられたし、みんなのために行動することができていた。みんなが凄くカッコよかった。

○一丸となって必ず文化祭を成功させようと思ってできた。クラスの絆が体育祭のときよりも深くなっていると思った。

○全員で協力して練習や道具の準備をしてきた。また一つクラスの絆が深まった。

○一人ひとりががんばってできた。

○やるときはみんなで声を掛けあって合唱を休みに練習することができていて、まとまっていると思った。劇もアドバイスをし合って、良いものにしようという前向きにできて良かった。

○体育祭よりももっと団結したと思った。プラスの言葉がとても多かった。みんなが主体的に動くことができた。どんなことにも冷静に考えることができた。

○合唱や劇など一人ではできないものをつくり上げ、協力すること、助け合うことの大切さ、そして、大人数で一つのものをつくり上げる素晴らしさが分かった。クラスが更に一丸になった。



○合唱練習で意見を言ったり、何回も練習したりして全員が積極的に練習できて良かった。

○団結力が更に上がった。3年生としての信頼もついた。みんなのために行動できるようにもなった。

○体育祭のときよりも更にクラスが一つにまとまったと思った。一人ひとりが自分の役割をしっかりと果たし、チームワークがより強くなった。

○合唱の時に、こうしたら良くなるというのをパートリーダーを中心に言えた。今まで以上に昼休みのパート練習が多かった。最優秀賞に向かってみんなの

心が一つになっていたのが良かった。

○より団結した。合唱ではお互いのアドバイスを聞き合ったり、演劇では裏方は裏方で何か一つのもの みんなでつくったりして、それが最終的に1つになって良いものがつくれた。

○団結力が深まった。合唱や演劇の練習の時に、そのパートに合わせた課題や演出を互いに教えあえた。

○パート練習などで自分が分からないところの音をもう1回したいという意思表示がきちんとできていた。アドバイスをしたあとにきちんと毎回返事ができていた。自分が担当していた仕事が終わったら、まだ終わっていないところを手伝ったりしてお互いに協力して、作品をつくれた。

○片付けなど最後まで徹底してすることができ、準備への意欲の高さもあり、当たり前に行えることが今まで以上に増えた。

○体育祭のいい流れが続いていてそれがパワーアップしたとても良い雰囲気でも挑むことができた。合唱でもできないところは何回もやって直していったし丸となってすることができた。

○合唱で、クラスでハーモニーをつくるなどといったクラスが一つになる団結力や準備、後片付けなどを率先して手伝えるようになったことが成長した。

○一人ひとりが自分の役割を果たし、個人個人がまとまっていて団体という大きなものになった。演劇では、各系の役割を果たして多くの人に感動してもらえるようなものになった。

○時間を見て動くことが成長した。

○クラス全体の絆、団結力が上がった。“湧き水”から“大河”になるように流れが大きく、太くなったと思う。

○みんなが同じ気持ちで合唱や演劇ができたことが良かった。



- よりよいものになるように一人ひとりが率先して考え行動するようになった。演劇練習では各係で協力しながら自分にできることは何かを考えて動くことができた。合唱でも自主的に声を出して歌うことができたから本番とても綺麗にハモれたと思う。
- 一人ひとりの仕事は違ったが役者も裏で働く人も一丸になって取り組むことができた。
- 一つの目標に向かってクラス全体で取り組むように意識を高く持って文化祭練習や当日を過ごせた。
- 他人事として考えなくなったことが成長した。合唱練習でも自分たちのパートだけを考えるのではなくまわりの音を聴いて歌うことができた。
- 練習中、弱音を吐かずに笑っていてとても良い雰囲気だった。こういうしんどくて大変なときこそ笑っていたり、プラスの声かけをしたりして良かった。
- 自分から素直に意見を言うことが成長した。合唱ではこうしたらいいと思うところを一人ひとりがみんなに言うことができた。
- 団結力が更に深くなった。特に歌の団結力が深くなった。
- 「これはこうした方がいいんじゃないか」などの声がとても多く言っていたと思う。先生が注意するのではなく、自分たちで注意しあえたから、演劇も合唱もいいものになったんだと思う。
- それぞれの役割を果たすことができた。文化祭は明確な係が決まっていたそれをやりきらなければならない。だからそれぞれが自分の役割に責任を持って真剣に取り組むことができた。これからも自分のやるべきこと、やらなければならないことから逃げず真剣に取り組みたい。
- 主体性。他の人がやったことを自分があわせるのではなく、自分からするという風にみんな行動していたと思う。だから、合唱も声が合っていたんだと思う。
- 合唱練習でみんながマイナスの発言をせずに更に上を目指してできたところが成長した。お昼も毎日練習して、心をひとつにして練習することができた。今までよりもっと団結してみんなが同じ目標を持って取り組めた。
- 1つになれたことや1つの目標に向かって努力できたこと、責任感などが成長できた。意外な人のリーダーシップもみられた。
- 本気になって準備、練習をすれば日々完成度が高くなったりよりよいものができるところが分かった。体育祭よりも弱音を吐くことが少なくなって、吐いてもしっかりできていた。
- 合唱のパート練習や演劇の準備、片付けが進んでできていて、主体性が伸びたと思った。誰かがするだろうという考えから、自分がやろうという考え方になってきた。

